

令和3年度 第2回広島市感染症対策協議会

【日時】 令和3年5月17日(月) 19:00~20:00
【場所】 広島市役所14階第7会議室(Web会議)
【出席者】 小林 正夫、坂口 剛正、大毛 宏喜、石川 暢久、高橋 宏明、新甲 さなえ、
堂面 政俊、増田 裕久、長岡 義晴、松原 啓太、

1 感染症に関する最近の情報

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る対応等について (資料1 P1~48)

都道府県を超えて感染が拡大し、又はまん延しており、それに伴い医療提供体制・公衆衛生体制に支障が生じてきていること等から、東京都、京都府、大阪府及び兵庫県は4月25日から、愛知県及び福岡県については5月12日から、5月31日までの緊急事態宣言が発出された。

本市においては、1日の新規感染者数が、5月16日に過去最多の156人となるなど、大幅に増加しており、1週間・人口10万人あたりの新規感染者数はステージⅣの目安となる25を大きく上回っている。

新型コロナウイルス変異株について、本市では5月17日までに450例が確認された。そのうち135例がゲノム解析済みであり、113例が英国型、22例が解析不能であった。

広島県は、大型連休後の感染拡大の恐れがあること、全国的に変異株が流行の主流となり重症者や死亡者も増えてきていることは大きな脅威であること等から、本市と福山市の事業所を対象としたPCR検査の集中実施や、県全体で人と人の接触を8割削減するために、外出の半減、出勤者の7割削減、広島市繁華街の飲食店における時短営業等の要請を行う「新型コロナ感染拡大防止集中対策」を5月8日から6月1日まで実施することとした。さらに、5月16日から5月31日まで、緊急事態宣言の対象に広島県が追加されたことで、PCR検査の集中実施は減少局面において実施することとなり、県内の飲食店や大規模施設等における休業要請や時短要請等が行われた。

本市においては、引き続き、市民に対して感染予防等の啓発を行うとともに、広島県等と連携して感染拡大防止に向けた取り組みを推進していく。

(委員意見)

- ・ 新規感染者数の減少に向けて、引き続き関係機関と連携して対策を行ってほしい。

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種について (資料1 P49~54)

5月10日、本市は新型コロナウイルスワクチンの高齢者向け接種について、接種スケジュールを発表した。

第1順位にある「65歳以上の高齢者施設・障害者施設等の入所者及び医療機関への入院患者」のうち接種希望者(対象者約17,000人)については、5月10日以降、接種体制が整った施設から順次接種を開始する。第2順位にある「80歳以上の者」(対象者約93,000人)に対しては、接種券番号を用いて予約を申し込めるようにするため、5月10日に接種券を送付した。

接種は、医療機関で行う個別接種を中心に、かかりつけ医がない方等の利便性等を考慮して、民間商業施設や高齢者施設等で行う集団接種でも実施する。なお、個別接種については、接種券が届いた者から順次、各医療機関で予約を受け付け、集団接種については、市域内での接種券の送付完了を待って、5月15日から本市で予約の受付を開始する。

引き続き、県や医師会等関係機関と協力の上、円滑な接種を進めていく。

(委員意見)

- ・ 関係機関と協力の上、円滑な接種を進めてほしい。

2 4月の定点把握対象感染症発生状況《公開》(資料2、3)

※感染症法に定められた感染症のうち、指定された医療機関のみが報告を行う感染症

3 全数把握対象感染症の発生状況《公開》

区分	病名	令和3年4月分	令和3年5月分
		報告日 4/5～5/2	報告日 5/3～5/11 現在
2類	結核	15人 (結核13人、潜在性結核2人)	1人 (結核1人)
4類	E型肝炎	2人 (4/6、4/13)	
	つつが虫病	1人 (4/30)	
	日本紅斑熱	1人 (4/15)	
	レジオネラ症	1人 (4/12)	
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人 (4/7)	
	侵襲性肺炎球菌感染症	2人 (4/9、4/30)	
	梅毒	5人 (4/5、4/6、4/14、4/15、4/30)	3人 (5/9、5/10、5/11)
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3人 (4/5、4/7、4/19)	1人 (5/6)
新型インフル	新型コロナウイルス感染症	594人	792人

() は届出日

4 その他《公開》

次回開催予定日 令和3年7月19日(月) 14階第7会議室

【資料】

資料1：最近の感染症情報

資料2：4月の感染症の概要

資料3：定点把握五類感染症(月報対象)の長期的変動

広島市感染症対策協議会コメント（5月分）

令和3年5月17日

1 患者情報

(1) 概要

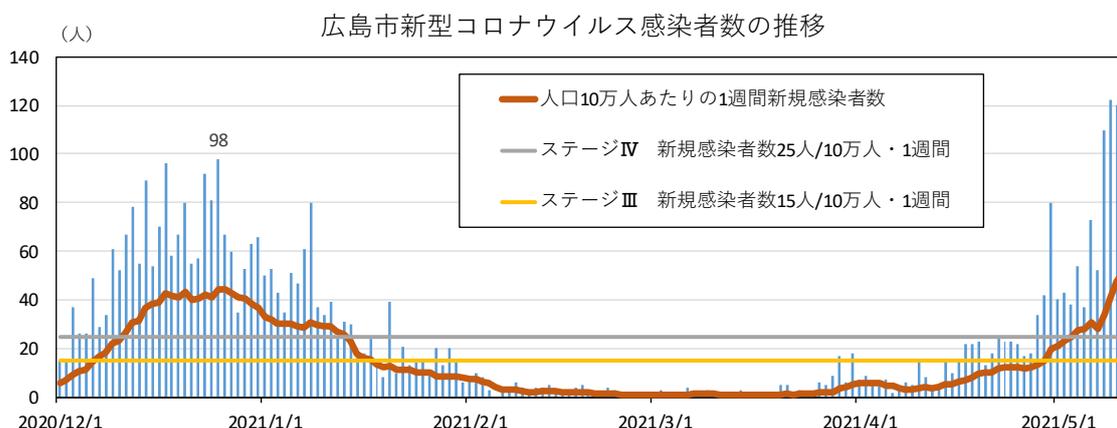
定点からの内科・小児科・眼科系疾患の患者報告数は、4月は1,131人で、前月比1.95と増加した。

感染性胃腸炎は大きく増加、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はやや増加、突発性発しんはほぼ横ばいであった。

(2) 特記事項

- 新型コロナウイルス感染症は、1日の新規感染者数が過去最多であった98人（12月25日発表）を上回り、感染拡大が続いている。5月7日に開催された広島県対策本部員会議において、広島県の感染状況・医療提供体制の評価は、初めてステージⅢに引き上げられた。また、新規報告者数の動向などを見た場合、広島市はステージⅣ相当であり、厳しい状況が続いている。

感染力の強い変異株が増えているなか、大型連休中の往来等により更なる感染拡大のおそれがあると考えられ、広島県は、「人出の半減」「出勤者の7割減」「対象エリア、店舗における時短営業」等、5月8日から6月1日までの期間で「新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策」の取組を実施することとした。また、感染者の早期発見のため、広島市、福山市の全事業所に対し、特措法第24条第9項に基づき「PCR検査集中実施」への協力要請を行う。基本的な感染防止対策に加えて、人と人との接触機会の低減、症状がある場合の早期受診など、感染拡大防止対策を徹底することが重要である。



- 感染性胃腸炎は、昨年から今年の冬は報告数が低い水準で推移していたが、4月から急増し、第16週に定点当たり12.50人（例年同時期は7.33人）の報告があった。また、4月に3件の集団発生が報告されている。

(3) 4月の1類～5類感染症（全数報告）患者発生数

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 15件（患者：13件、潜在性結核：2件）
- 3類感染症：なし
- 4類感染症：E型肝炎 2件
つづが虫病 1件
日本紅斑熱 1件
レジオネラ症 1件
- 5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件
侵襲性肺炎球菌感染症 2件
梅毒 5件
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3件

新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 594件

(4) 今後の流行予測

- 新型コロナウイルス感染症・・・【急増中】
- 感染性胃腸炎の発生動向に注意が必要である。

2 検査情報

4月の検査結果判明分

臨床診断名	検出病原体	検体採取月	患者数
流行性角結膜炎	アデノウイルス 53 型	1 月	4 人
	アデノウイルス 53 型	2 月	1 人

5人の患者から1種類のウイルス5株が検出された。検出ウイルスの内訳は、アデノウイルス53型5株であった。

5類感染症定点情報
(令和3年4月解析分)

1. 週報対象(第14週～第17週)

No.	疾患名	発生記号	報告数	定点当たり	今後の予測	No.	疾患名	発生記号	報告数	定点当たり	今後の予測
1	インフルエンザ		-	-		10	流行性耳下腺炎		4	0.16	
2	咽頭結膜熱		28	1.17		11	RSウイルス感染症		12	0.50	
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		60	2.50		12	急性出血性結膜炎		-	-	
4	感染性胃腸炎		934	38.92		13	流行性角結膜炎		19	2.38	
5	水痘		11	0.46		14	細菌性髄膜炎		-	-	
6	手足口病		-	-		15	無菌性髄膜炎		-	-	
7	伝染性紅斑		5	0.21		16	マイコプラズマ肺炎		-	-	
8	突発性発しん		30	1.25		17	クラミジア肺炎		-	-	
9	ヘルパンギーナ		4	0.16		18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	

2. 月報対象(4月)

No.	疾患名	発生記号	報告数	定点当たり
1	性器クラミジア感染症		36	4.00
2	性器ヘルペスウイルス感染症		9	1.00
3	尖圭コンジローマ		4	0.44
4	淋菌感染症		21	2.33
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		24	3.43
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		-	-
7	薬剤耐性緑膿菌感染症		-	-

発生記号

前月と比較しておおむね1:2以上の増減		
前月と比較しておおむね1:1.5~2の増減		
前月と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減		
ほぼ横ばい(発生件数少数のものを含む)		

予測記号

流行始まり	
流行中	
流行終息傾向	
終息	

全数把握感染症報告数(令和3年4月分)

第14週～第17週(4月5日～5月2日)報告分

類型	疾患名	広島市		全国		
		報告数	累積	報告数	累積	
一類	1 エボラ出血熱	-	-	-	-	
	2 クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	
	3 痘そう	-	-	-	-	
	4 南米出血熱	-	-	-	-	
	5 ベスト	-	-	-	-	
	6 マールブルグ病	-	-	-	-	
	7 ラッサ熱	-	-	-	-	
二類	8 急性灰白髄炎	-	-	-	-	
	9 結核	15	42	1,245	4,907	
	10 シフテリア	-	-	-	-	
	11 重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	
	12 中東呼吸器症候群	-	-	-	-	
	13 鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	
	14 鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	-	
三類	15 コレラ	-	-	-	-	
	16 細菌性赤痢	-	-	-	4	
	17 腸管出血性大腸菌感染症	-	1	100	313	
	18 腸チフス	-	-	-	-	
	19 パラチフス	-	-	-	-	
四類	20 E型肝炎	2	3	48	194	
	21 ウエストナイル熱	-	-	-	-	
	22 A型肝炎	-	1	5	25	
	23 エキノコックス症	-	-	6	11	
	24 黄熱	-	-	-	-	
	25 オウム病	-	-	2	3	
	26 オムスク出血熱	-	-	-	-	
	27 回帰熱	-	-	-	2	
	28 キャサスル森林病	-	-	-	-	
	29 Q熱	-	-	-	-	
	30 狂犬病	-	-	-	-	
	31 コクシジオイデス症	-	-	-	-	
	32 サル痘	-	-	-	-	
	33 ジカウイルス感染症	-	-	-	-	
	34 重症熱性血小板減少症候群	-	1	12	27	
	35 腎症候性出血熱	-	-	-	-	
	36 西部ウマ脳炎	-	-	-	-	
	37 ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	
	38 炭疽	-	-	-	-	
	39 チクングニア熱	-	-	-	-	
	40 つつが虫病	1	1	16	80	
	41 デング熱	-	-	-	-	
	42 東部ウマ脳炎	-	-	-	-	
	43 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)	-	-	-	-	
	44 ニバウイルス感染症	-	-	-	-	
	45 日本紅斑熱	1	1	32	44	
	46 日本脳炎	-	-	-	-	
	47 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	
	48 Bウイルス病	-	-	-	-	
	49 鼻疽	-	-	-	-	
	50 ブルセラ症	-	-	-	-	
	51 ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	
	52 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	
	53 癩しんチフス	-	-	-	-	
	54 ポツリヌス症	-	-	-	1	
	55 マラリア	-	-	1	4	
	56 野兔病	-	-	-	-	
	57 ライム病	-	-	-	4	
	58 リッサウイルス感染症	-	-	-	-	
	59 リフトバレー熱	-	-	-	-	
	60 類鼻疽	-	-	-	-	
	61 レジオネラ症	1	7	76	350	
	62 レプトスピラ症	-	-	-	2	
	63 ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	
	五類	64 アメーバ赤痢	-	3	31	165
		65 ウイルス性肝炎	-	2	16	66
		66 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	1	123	537
		67 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	1	1	6
		68 急性脳炎	-	1	22	103
		69 クリプトスポリジウム症	-	-	-	1
		70 クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	22	58
		71 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	51	222
		72 後天性免疫不全症候群	-	2	80	315
		73 ジアルジア症	-	-	-	11
		74 侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	12	70
		75 侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	1	1
		76 侵襲性肺炎球菌感染症	2	2	132	423
		77 水痘(入院例に限る。)	-	-	25	90
		78 先天性風しん症候群	-	-	-	1
	79 梅毒	5	16	481	1,956	
	80 播種性クリプトコックス症	-	-	10	41	
	81 破傷風	-	-	4	23	
	82 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	
83 バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3	3	12	35		
84 百日咳	-	-	38	192		
85 風しん	-	-	1	6		
86 麻しん	-	-	1	1		
87 薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-		
新型インフル	88 新型コロナウイルス感染症 ※	594	4,007	117,248	600,119	

※全国データは、厚生労働省HPから引用(空港検疫及びチャーター便帰国者を除く)。広島市、全国の累積は2020年からの合計。